

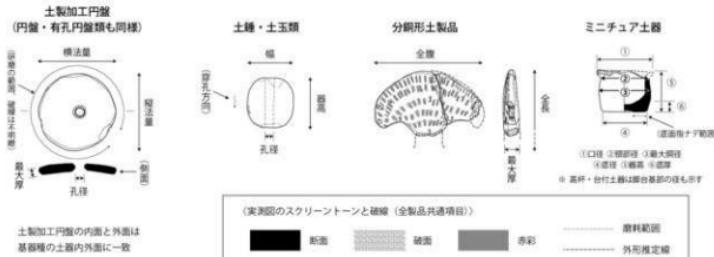
第Ⅱ章 土製品

はじめに

本章では、2003年報告分（以下、報告Ⅰ）で報告しきれなかった土製品を扱う。対象資料の中心は遺構出土資料である。

〈凡例〉

- 番号は掲載番号に加えて、| 内に実測番号を付記した。
- すべて肉眼観察を行い、色調・胎土・焼成の状況等観察結果は章末の観察表に記載した。
- 調査区・グリッド・遺構名・取り上げ番号の判明しているものは観察表に明記した。
- 個々の所蔵時期は出土遺構及び出土層位の時期に掲るものである。
- 計測値は長さ cm、重さ g を用いた。完存せず計測不可能なものは（ ）内に残存値あるいは推定復元値を記載した。
- 法量のうち縱と横（あるいは器高と幅）で数値の大きい方を最大長と呼ぶ。
- 製品によってはグラフ等で示した数量に報告Ⅰと2003年報告分（以下、報告Ⅲ）を含む場合がある。
- 実測図の提示は原則として今報告対象資料のみであるが、必要な場合は報告Ⅰ・Ⅲの既報告資料も掲載した。
- 実測図の凡例は下図のとおり。



第1節 土製加工円盤

新たに165点を抽出して99点を図化した。分類対象は報告Ⅰ 184点・報告Ⅲ 18点を併せて計367点である。抽出条件は土器を円盤状に加工したものとし、穿孔痕跡あるものは焼成後穿孔を原則とした（報告Ⅰ第90図159は焼成前穿孔の可能性があるため除外）。

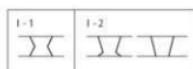
1 形態の分類

下記のとおり、報告Ⅰの形態分類を若干変更して分類した。変更点は、①孔が貫通するものに関して、新たに孔の形状から推定される穿孔法を2分した点と、②厳密に区別できなかった形態素2のc（四角を呈するもの）を除いた点である。点数は今報告に報告Ⅰと報告Ⅲを合わせたもの。

(形態素1 穿孔状況)

- I . . . 孔が貫通するもの (209点) I 1両側穿孔 (両側からほぼ半分ずつ穿孔) (126点)
 I 2 片側優先穿孔 (片側からの穿孔が半分以上、土器内面側・
 外面側の別は表中に付記) (82点)

不明 (1点)



II . . . 孔が未貫通のもの (97点) II 1 両側に穿った痕跡がみられるもの (33点)

II 2 片側に穿った痕跡がみられるもの (64点)

III . . . 孔が無いもの (61点)

(形態素2 側面加工)

- a . . . 側面全周あるいは部分的に研磨がみられるもの (基本的に円形) (226点)
 a1 研磨が明瞭なもの (114点) a2 摩滅が多く研磨が不明瞭なもの (112点)
 b . . . 側面を打ち欠き、明瞭な研磨がみられないもの (140点)
 不明 . . . (1点)

第1表 土製加工円盤の分類構成 (単位:点数)

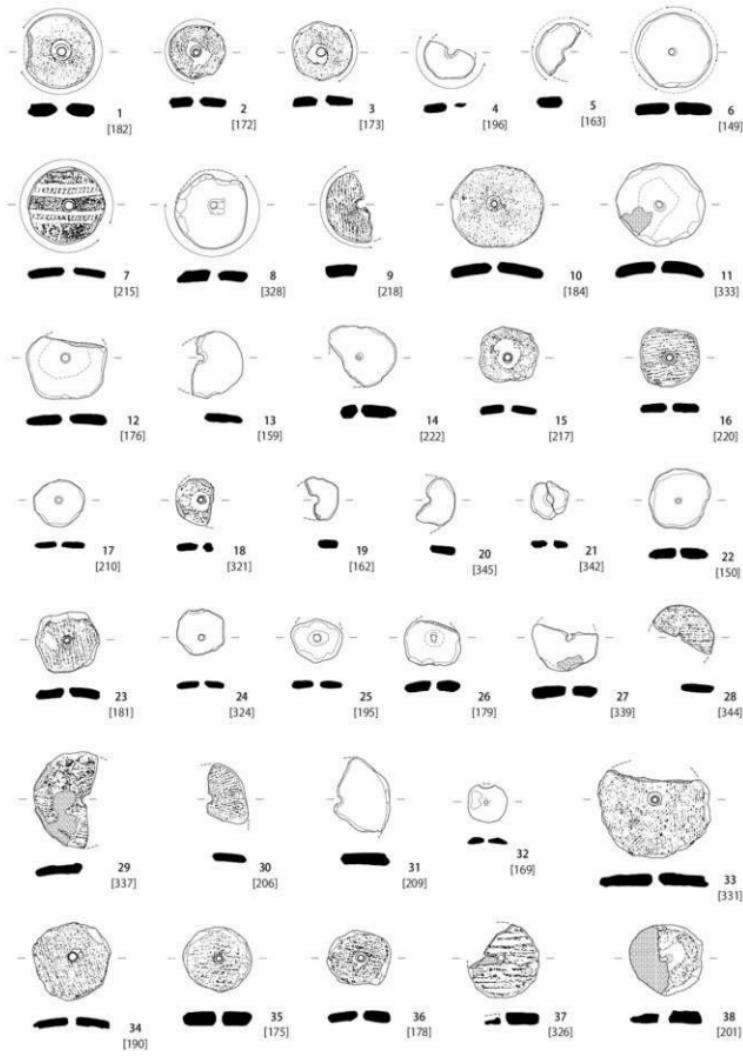
	I 1	I 2	II 1	II 2	III	不明	合計
a1	52	34	7	6	15	0	114
a2	39	26	9	21	16	1	112
b	35	21	17	37	30	0	140
不明	0	1	0	0	0	0	1
合計	126	82	33	64	61	1	367

2 概要

平面形態は円形が主体で、他に三角形や四角形などの多角形や、形容し難い不整形を呈するものがある。最大長2.20～7.37cm、重量2.44～44.46gに収まるが、60g代と80g代が各1点ずつ存在する。推定される基器種は壺形242点、甌形123点、ミニチュア土器1点、不明1点と、壺形が圧倒的に多い。部位は湾曲の少ない断面部を主に使用し、底部片を加工するもの(報告I第89図53ほか)も若干ある。

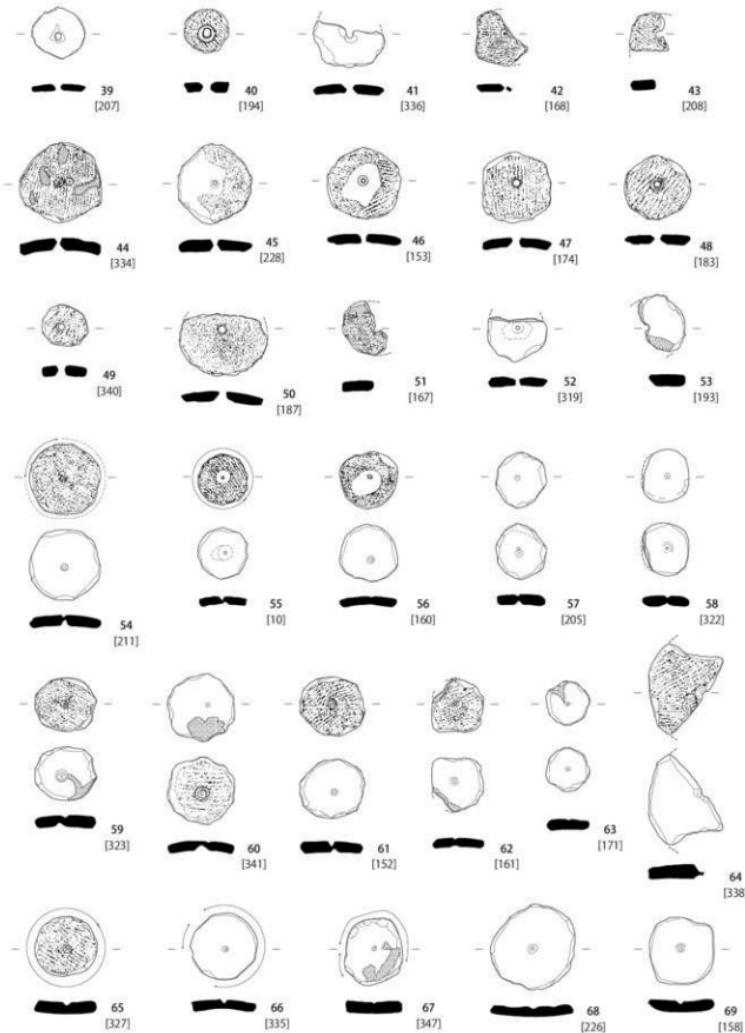
穿孔について、貫通孔をもつもの(I類)は報告Iで全て両側穿孔(I 1類)に分類したが、改めて観察した結果、片側からの穿孔が優先するもの(I 2類)が存在することが分かった。その優先する穿孔面は内面67点、外面15点で、内面が多い。また、未貫通孔をもつもの(II類)には、両側に未貫通孔が認められるもの(I 1類)33点の中に片側からの穿孔が深く入るものは17点あり、その中で内面からの穿孔が深いものが11点ある。さらに、片側のみ未貫通孔をもつもの(I 2類)も、穿孔面は内面52点、外面12点と内面への穿孔が多数を占める。よって、より接地面積が多く安定した外面を下にして、内面からの穿孔を優先させたと考えられる。

ほかに、穿孔の修正痕跡として、孔を途中であけなおした痕跡があるもの(44・57・64)や、一方の面の側面にかかる部分に未貫通孔が存在し、もう一方の面の中央に未貫通孔が認められるもの(報告I第93図173)がある。前者は両側の穿孔で生じたずれの修正、後者は破損による再穿孔や穿孔途中で円盤の大きさを修正した可能性があげられる。両側の孔のずれを修正せずに貫通させたものも若干あり、孔の形状は括がって梢円形となる(26・38)。また、孔周辺に摩滅面があるもの(2・



1-1-a1 : 1 ~ 5, 1-2-a1 : 6 ~ 9, 1-1-a2 : 10 ~ 21, 1-2-a2 : 22 ~ 31
 1-7-a2 : 32, 1-1-b : 33 ~ 38

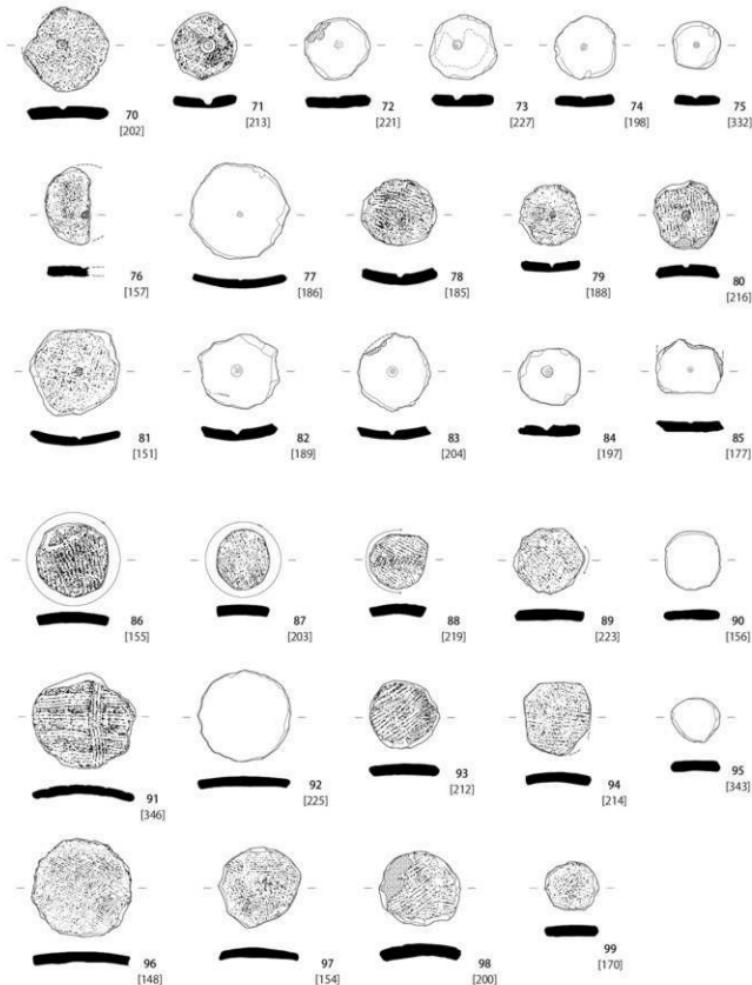
第1図 土製加工円盤1 (S=1/3)



I 1-b : 39 ~ 43, II 2-b : 44 ~ 53, II 1-a1 : 54 ~ 55, II 1-a2 : 56 ~ 60
 II 1-b : 61 ~ 64, II 2-a1 : 65 ~ 67, II 2-a2 : 68 ~ 69



第2図 土製加工円盤2 (S=1/3)



II 2-a2 : 70 ~ 76, II 2-b : 77 ~ 85, III-a1 : 86 ~ 89, III-a2 : 90 ~ 95
III-b : 96 ~ 99



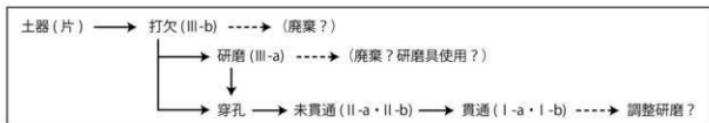
第3図 土製加工円盤3 (S=1/3)

11・12・18・26・38・56) が観察され、使用痕の可能性もあるが、穿孔前に予め器面を平滑にするという予備穿孔を施したものかもしれない。

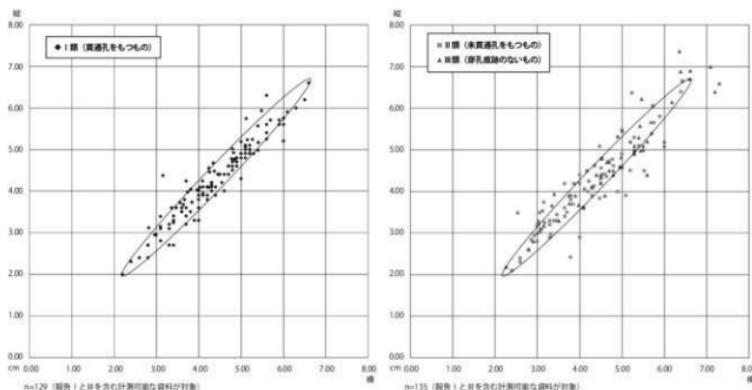
研磨については、第1表から貫通孔をもつもの(I類)に明らかな側面研磨痕(a1類)が多い。研磨方向は側面に対して平行するものと直交(あるいは斜交)するものがある。研磨の状況は、入念な研磨が全周するものと部分的なものがあるが、側面が丸く摩滅し研磨が不明瞭なもの(a2類)も多い。

3 推定される形成過程と使用法

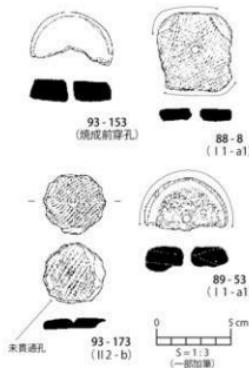
観察結果から形成過程は第5図のようにイメージされる。そして第6図を見る限り、貫通孔をもつものはもたないものに比べて縱横の均整がとれており、最終目標として貫通孔をもつ円盤を指向しているよう見える。しかし、四角形の辺に研磨痕が認められ、円形を指向しないもの(報告I第88図8)や、極端に大きなものや小さなものが存在する点については注意を要する。また、最終目標として想定した貫通孔をもつ円盤をつくり出すという前提以前に、円盤が研磨具として使用された可能性についても一考を要する。なお、穿孔後に研磨した可能性が残るが、孔が円の中心から著しくずれることがないため、あり得るならば形を整える程度のものと考えられる。



第5図 土製加工円盤の形成過程想定図



第6図 土製加工円盤の法量と穿孔状況 散布図



第4図 報告I掲載資料 (S=1/3)

使用法については、正円形に近く孔が中心付近にあいた穿孔円盤に限れば、紡錘車としての機能が想定される。(東村 2011)によれば、紡輪(紡錘車)の認定基準には孔の形態が大きく関わっており、孔断面は円筒形で孔径(茎径)が0.6~0.8cmに収まる。これら基準に当てはまるものは、今回分類したものにも含まれると思われるが、厳密な認定は行っていない。一方で根拠に乏しいが、土器の文様面を意図的に残して打ち欠いているものは、装身具としての側面も考えられるかもしれない。

4 所属時期

出土した遺構時期、あるいは埋積浅谷の層位時期が判明しているものから集落時期を当てはめると、I期9点、I-II期5点、I-III期2点、II期92点、II-III期(以降含む)38点、III期83点、III期以降3点に位置づけられる。この所属時期はあくまで層位に基づくもので、加工された基器種の型式学的編年位置については分析を行っていない。もし層位と型式で時期がずれるとなったら、廃棄された伝世品の加工や別層位からの混入等が想定される。

第2節 土錘・土玉類

新たに50点を抽出して38点を図化した。分類対象は報告I 90点・報告III 3点を併せて計143点である。球状・円筒状を基本とする多様な形状の粘土塊に孔を穿つもので、土錘もしくは土玉と推定されるものを一括した。例外的に孔が無いものや未貫通のもの、焼成後穿孔するものも含む。

1 形態の分類

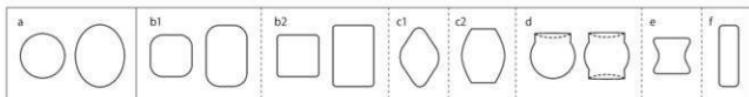
報告Iをベースに下記のとおり新たに分類項目を設定した。点数は今報告に報告Iと報告IIIを合わせたもの。欠損しているものは推定分類した。

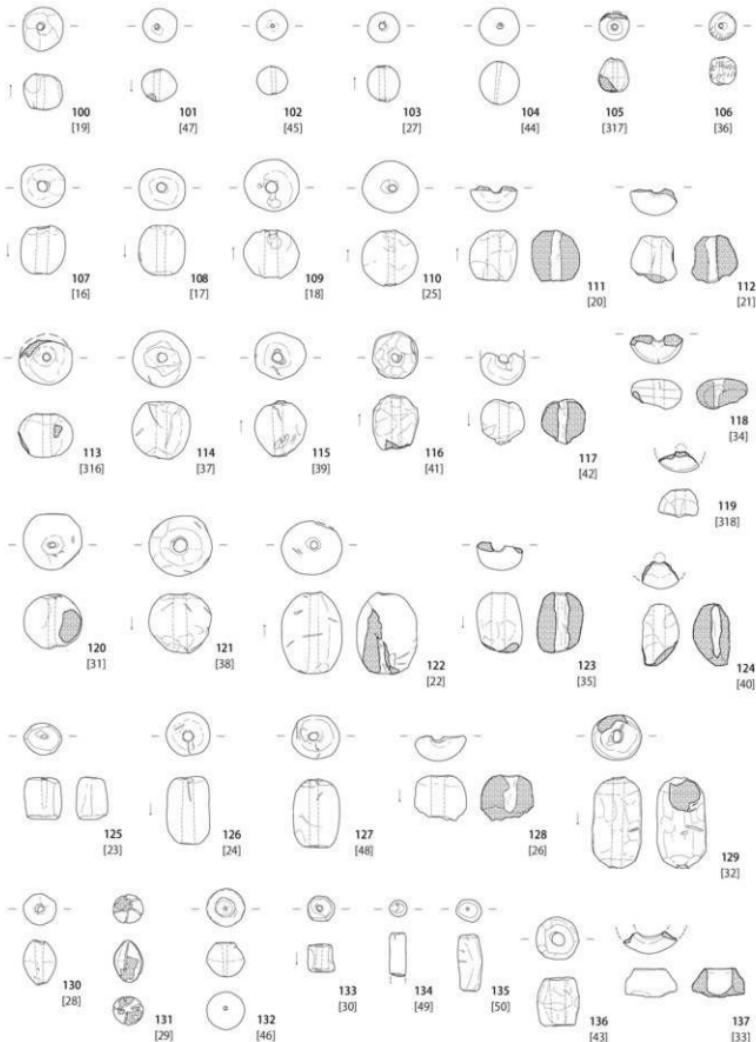
(形態素1 最大長と重量による大きさ)

- 1・・・小(最大長3cm以下、重量20g未満)(48点)
- 2・・・中(最大長3~4cm、重量20g~50g)(62点)
- 3・・・大(最大長4cm以上、重量50gを超えるもの)(33点)

(形態素2 側面観(立体観))

- a・・・(楕)円形(球状)(97点)
- b・・・四角形(円筒状)
 - b1 端面のナデが弱く角が丸いもの(11点)
 - b2 端面のナデが強く角が張るもの(5点)
- c・・・紡錘形
 - c1 中央に稜をもち、両端が窄まるもの(7点)
 - c2 上記のもので、端面のナデが強く面取りが顕著なもの(7点)
- d・・・独楽形
一端あるいは両端をつまみあげるもの(10点)
- e・・・鼓形
四角形の中央部付近が窄まるもの(3点)
- f・・・管形
四角形の中でも長辺(器高)が極端に長いもの(3点)





a-1 : 100 ~ 106, a-2 : 107 ~ 118, a-3 : 120 ~ 123, 1-62 : 125
 3-62 : 126 ~ 129, 1-c1 : 130 ~ 131, 1-d : 132, 1-e : 133, 2-f : 134 ~ 135
 2-c2 : 136, 3-c2? : 137, 不明 : 119, 124



第7図 土錘・土玉類 (S=1/3)

第2表 土錘・土玉類の分類構成と孔径平均値(単位:欄左は点数、欄右は孔径平均値でcm)

	a	b1	b2	c1	c2	d	e	f	個数合計	孔径平均
1(小)	28	0.32	1 -	2 0.32	4 0.33	0 -	10 0.24	3 0.40	0 -	48 0.31
2(中)	54	0.57	0 -	1 1.00	3 0.52	1 0.95	0 -	0 -	2 -	61 0.58
3(大)	15	0.61	10 0.68	2 0.50	0 -	6 1.58	0 -	0 -	1 0.50	34 0.77
合計	97	0.50	11 0.68	5 0.53	7 0.42	7 1.45	10 0.24	3 0.40	3 0.50	143 0.53

※孔径平均値は孔の無いもの・未貫通孔・焼成後穿孔・計測不可の欠損品を除いた123点の値で計算

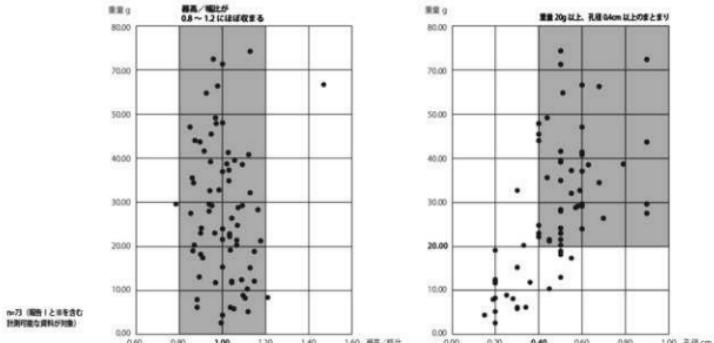
2 概要

各形態について、形態素2の側面観を軸に以下観察結果をまとめる。

分類した中で突出して多いa類には小中大の各大きさが揃い、特に中形の占める割合が大きい。正円形に近いものから縦長・横長の楕円形があるが、細分はしていない。小中には文様が施されるものがあり、今報告ではやや不明瞭ではあるが、106に2本1組の管状工具による刺突文が2列ないし3列施される。孔径平均値は小と中大の間に2mm程の差があり、孔に通す物体の違いが予想される。b類は一端もしくは両端をナデて平坦にする意図がみられ、そのナデの強弱でb1類とb2類に細分した。b1類は焼成後の未貫通孔をもつ特殊な小形品(報告I第96図62)以外は大形品が主体である。b2類は小中大と揃うが、1点だけ分類した中形品は孔径が1cmと大きく、両端をきれいに面取りする明らかに後世の特徴をもつ。c類を細分したc1類とc2類は側面観から同類としたが、つくりの違いが明白で別類とした方がよかっかも知れない。c1類は両端をナデない紡錘形で、小中の大きさに偏る。131は孔が無く、長軸方向へ放射状に5本の沈線がのびる。c2類は中大に偏り、孔径平均値が1cm前後と大きく、両端の面取りが顕著である。前述したb2類の中形品とともに胎土や色調も他と異なるため、後世のものと判断される。以上はa~c類に分類・細分したが、特に中形と大形のb1類・b2類・c2類に関しては観察する角度によって形態が異なったり似通ったりしており、厳密に区分しづらいものもあった。

d類とe類は全て小形品で、孔径平均値が小さく、どちらもユビオサエやハケで丁寧に調整している。d類は端面をやや凹ませ、e類にも一端を凹ませるものがある(報告I第96図63・第97図86、前者はミニチュア土器片の可能性もある)。f類は、中形品には穿孔面に傷のような沈線が残る134と浅い焼成後未貫通孔をもつ135があり、大形品は焼成前の貫通孔をもつ(報告I第96図36)。

穿孔状況については、焼成前貫通孔132点、焼成前未貫通孔3点、焼成前貫通孔が三叉状になるもの1点(報告III図版53-199)、焼成後未貫通孔2点、孔の無いもの5点がある。最も多い焼成前



第8図 a類における重量・高さ／幅比・孔径の関係

貫通孔は片側穿孔によるもので、一方の孔はやや陥没気味となり、もう一方が突出するものが多い。孔周辺もしくは器表面に小さな粘土クズが認められることから、穿孔具で押し出された粘土が付着したと推測される。

3 推定される使用法

a類の中大形品は報告Ⅰでも指摘されたように鳥取県青谷上寺地遺跡出土の有孔土玉（北浦2001）との関連があげられる。有孔土玉は径0.4cm程のヒノキ枝を孔に通して輪にした状態で出土したもので、近年ではこれも網錘の一種として捉える研究がある（内田2014）。本遺跡でも報告Ⅰ第95図1のように樹皮巻きの枝が挿入されたものが見つかっており、第8図に示すとおり円形（球状）で重量20g以上の個体はほぼ全て孔径0.4cm以上にまとまる。青谷上寺地遺跡における詳細な数値の散布度合は不明だが、平均重量が20g前後となるため、「鍾」として共通する規格が見出せるかもしれない。

他にa類以外でも孔周辺に摩滅や剥離が観察できるため、孔に何かを通す使用法は共通していたと考えられる。

小形品（a類・b類・c1類・d類・e類）については、装身具の可能性もある。

4 所属時期

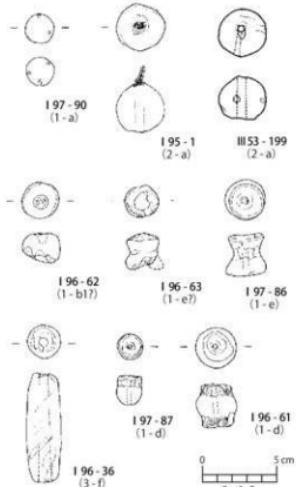
出土した遭構時期、あるいは埋積漫谷の層位時期が判明しているものから集落時期を当てはめると、I期1点、I-II期1点、II期17点、II-III期16点、III期55点、III期以降2点が位置づけられ、III期に属するものが高い比率を占める。a類に限ると、II期9点、II-III期11点、III期44点、III期以降2点となり、同様にIII期に集中する。107～109および111・122はそれぞれ同一土坑出土で、特に107と108は胎土や色調、形態が酷似しており、同時期に製作された可能性が高い。

また、一部に関して触れたが、（山本2011）の管状土鍾形態分類を参考にすると、中大形のa類（楕円形）・b1類・b2類・c2類や大形のf類など、弥生時代以降の資料が混ざるようである。

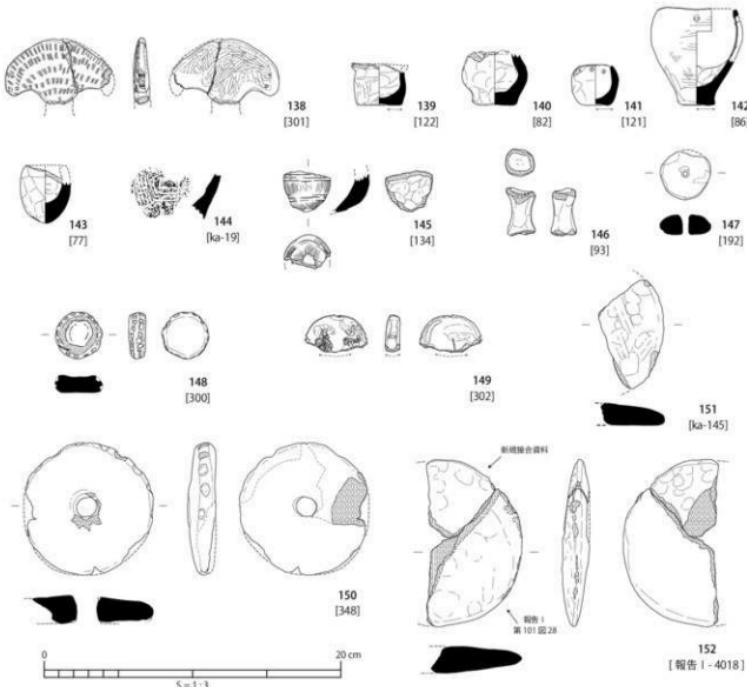
第3節 その他の土製品

138は分銅形土製品で、下半部と右側突出部付近が欠損する。表面には3本1組の管状工具で刺突列を施し、表面から左右突出部に2個ずつ穿孔する。裏面はやや摩滅しているがミガキ痕跡が認められる。集落III期の墓（SX06）出土。

139～146はミニチュア土器で、今報告76点中8点を図化した。器種は蓋（140・141・142）、甌（139）、鉢・高杯（146）、器台・コップ形（143・144・145）の各形態があり、142のような小型土器とすべきものも含まれる。成形は手づくねあるいは底部に粘土紐1本～数本積み上げてつくる。調整・仕上げはナデ（140・146・144）、ハケ（145）、ハケ調整後ナデ仕上げ（139・141・



第9図 報告Ⅰ・Ⅲ掲載資料 (S=1/3)



第10図 その他の土製品 (S=1/3)

142・143)、指オサエ(140・145)、ミガキ、ケズリが観察される。被熱痕をもつものもある。その他特記事項として、139は角閃石を多く含む胎土で、やや上げ底氣味となる。141と142は無頸壺で、142の内面上部の一帯に赤彩が残る。143～145は本遺跡出土の木製コップ形容器と同じく筒状丸底の形が範型と思われる。144には重区画沈線文、145にはハケ目にして3本1組の沈線文が間隔をあけて2列、それぞれ施される。146は高杯の脚部片で、他にも台付土器の台部片が一定量あり、意図的に打ち欠いた可能性もある。今報告分が所属する集落時期はⅡ期に集中する。

147～152は用途不明の円盤類である。147は円形のやや厚みのある粘土塊に穿孔されている。穿孔は焼成前で、2次的な製品ではないため土製加工円盤から除外している。集落Ⅲ期。148は側面に円管状刺突列が2列施されるものである。一方の盤面は平らだが、もう一方の盤面が凹み気味で周辺にやや不明瞭な剥離面が認められるため、ミニチュア土器の台部である可能性もある。集落Ⅲ期の墓(SX06)出土だが、下層出土のため下部に切り合う集落Ⅱ期の環濠に属するかもしれない。149は欠損品であるが、剥離面が摩滅あるいは研磨でつぶれており、円形か半円形かは定かではない。側面三方に断面V字の切れ込みを入れ、盤面に巻貝の殻口を押圧した痕跡がある。150は分厚い

い円盤に穿孔するもので、孔径約1.3cmの焼成前穿孔である。側面には連続する指押圧を施し歯車状となるが、摩滅・剥離面が多く全周するか不明である。集落II期。151は152と同調査区出土で、胎土や色調、形態、調整が酷似しているため、同一資料の可能性が高い。152は報告I第101図28の円盤状土製品に新たに接合した資料で、直径は11cm程度となる。集落II期。

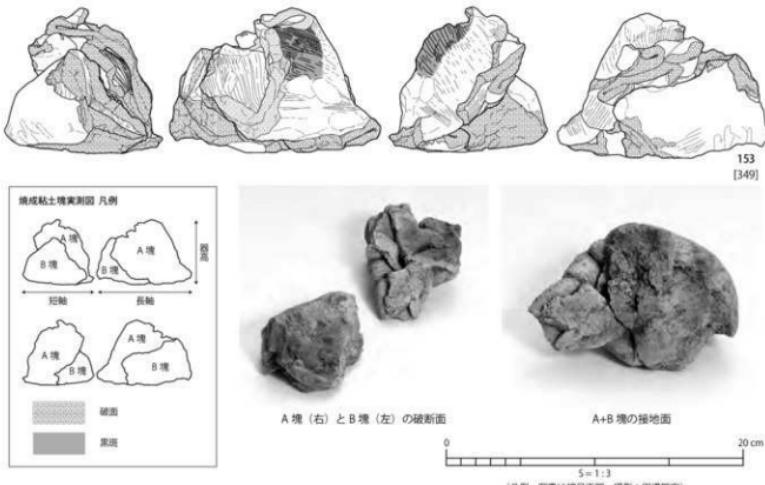
第4節 焼成粘土塊

153は2つの粘土塊（A塊とB塊）が組み合って焼成されたもので、両塊の破断面から焼成前に組み合ったことがわかる。A塊は、土器が上から押しつぶされたような形状を呈し、表面には1.5～1.8cm程の単位幅をもつハケ目と指圧痕が残る。その形状と調整から、器厚0.5～0.7cmの壺形土器と推測され、製作が中断されたものであると思われる。B塊は、表面が滑らかにナデされた粘土塊で、指圧痕やヘラ状圧痕が一部に認められる。破断面付近には、A塊の一部が付着している。

個々の観察から、B塊にA塊が押し付けられて1つの粘土塊（A+B塊）が形成されたことがわかり、実測図はこのA+B塊が安定した面を接地面として描いている。焼成痕跡を観察すると正面右上付近（A塊）に黒斑が濃く残り、黒斑周辺に表面が擦れてハケ目が不明瞭になる部分があることから、焼成時に何かが接触していたことが推測される。可能性として、土器焼成時に土器を傾斜させる“支柱”利用が考えられる。黒斑がある面の傾斜角は50～60°程度を測る。

参考文献

- 内田律雄 2014 「弥生時代の建網—鳥取県青谷上寺地遺跡の「有孔土玉」の性格—」『先史学・考古学論究』VI 龍田考古会
 北浦弘人 2001 「第4章第2節 土製品」『青谷上寺地遺跡3（本文編）』鳥取県埋蔵文化財センター
 東村純子 2011 「第2章第1節 紡錐の基礎研究」『考古学からみた古代日本の紡績』六一書房
 山本直人 2011 「縄文時代の打欠石鍬の用途に関する一考察」『名古屋大学文学部研究論集史学』57-2 名古屋大学文学部



第11図 焼成粘土塊 (S=1/3)

【土製觀察表 例則】

(1) 道路名表記

- ・SX = 方形周溝渠、平地式建物
- ・基 = 方形周溝渠
- ・SD, ミゾ = 溝
- ・SK, [Gr名] + 番号 - K = 土坑
- ・SP, [Gr名] + 番号 - P = ピット

(2) 様相区分と集落時期

- ・報告の時期設定に準拠。概ね集落Ⅰ期 = 4-6期、集落Ⅱ期 = 6-8期、集落Ⅲ期 = 9.10期に相当し、弥生時代の時期区分では4.5期が中期前葉、6-8期が中期中葉、9.10期が中期後葉となる。

(3) 色調・胎土・焼成

- ・色調は黒斑やススコグ等の製作・使用痕を除いた器表面の色味を示す。表記はアンセル表色系で準拠。
- ・胎土は密、密粗(=やや密)、粗密(=やや粗)、粗の4段階相対的評価。含有物や特記事項がある場合は別途記載する。

- ・焼成は良好、やや良好、良、やや良、やや不良、不良の6段階相対的評価。

(4) 計測値

- ・計測部位は本文を参照。

- ・重量の単位はg、それ以外の長さの単位はcmを用いる。
・()の数値は残存値および推定元値を示す。

1-1 土製加工品盤

規則 No.	P.C. Gr	層名	遺構名	取 No.	様相 区分	集落 時期	記述	分類	測量 寸法	色調	胎土	焼成	縮法量	構法量	最大厚	重量	孔径	備考
1 182 17		7・9層	ミゾ8c	8	期	Ⅱ	Ⅰ-a1	10YR8/2 浅黄褐色	良好	5.04	(3.6)	0.86	2301	0.60				
2 172 11 H-11		黒色粘土	ミゾ49a	9			Ⅰ-a1	内 10YR8/2に薄青色 外 10YR8/2灰白色	良好	3.66	3.80	0.68	1048	0.40				
3 173 11 K-7			87-02-k	7	期か	Ⅱ	Ⅰ-a1 (部分的) Ⅰ-a2	2.5Y7/2灰黄色	良好	4.00	4.02	0.72	1288	0.60				
4 196 12 26-55		ミゾ2		6-7期	Ⅲ	Ⅰ-a1	2.5Y8/2灰黄色	良好	(2.5) (3.5)	0.62	5.16	0.52	欠損					
5 163 11 D-8		砂質	ミゾ31a シント質跡	7-8期	Ⅲ	Ⅰ-a1 (部分的)	2.5Y7/3浅黄色	良好	(3.46) (2.95)	0.74	6.34	0.53	欠損					
6 149 11 L-7		下層	L-03-K 6c	7期	Ⅱ期	Ⅲ	Ⅱ-a1	10YR8/2灰白色	中中不良	5.00	5.18	0.84	2461	0.40				
7 215 26 H-5		下層	SK67	9期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a2	2.5Y7/3浅黄色	良好	5.15	5.23	0.62	1787	0.65				
8 328 13 G-5			G5-02-K 4IK	9期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a1	2.5Y7/2灰黄色	中中不良	(5.0) (4.92)	0.74	2282	0.48	欠損 穿孔				
9 218 11 L-6		中層	SD22A	8期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a1	2.5Y8/2灰白色	和耐	中中不良	4.90	(3.00)	0.80	1181	0.55	欠損		
10 184 17		11・12・ 13層	ミゾ2b アツケ	6期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	2.5Y7/3浅黄色	良好	5.60	6.30	0.76	3101	0.43				
11 233 13 H-4			H4-31A-k	7期か	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	10YR8/3浅黄色	良好	5.48	5.93	0.62	3162	0.46				
12 176 17 E-7			SN04 ミゾ2	9期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	2.5Y8/3浅黄色	不具	(4.2)	5.38	0.72	1531	0.53	欠損			
13 159 11 L-2		上・黒褐色 (±5)	ミゾ20				Ⅰ-a2	7.5Y8/6浅黄褐色	中中不良	4.50	(3.40)	0.56	7.99	0.40	欠損			
14 222 11 L-7		E-2層	SD22B	8期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a1	2.5Y8/2灰白色	中中不良	4.24	4.55	0.94	1644	0.46	欠損			
15 217 28 E-3		上層	E3-7K 3IK				Ⅰ-a2	2.5Y8/2灰白色	不良	3.74	3.98	0.56	8.91	0.53				
16 220 11 H-6		クロカツ イコウ					Ⅰ-a2	10YR8/4浅黄褐色	良好	3.96	4.03	0.62	1146	0.54				
17 210 17		上・中層	ミゾ44 8IK	6-7期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	2.5Y8/2灰白色	良	3.15	4.37	0.48	4.70	0.38				
18 321 13 H-4		ミゾ12			Ⅲ	Ⅰ-a2	内 2.5Y8/2灰白色 外 10YR8/3浅黄褐色	中中不良	(3.09) (2.50)	0.58	4.76	0.32	欠損					
19 162 11 B,C-5	2層	ミゾ33a	9-10期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	2.5Y8/4灰黄色	中中不良	2.80 (2.27)	0.50	2.51	0.48	欠損					
20 345 13 L-2		J2-46-P	9期か	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	10YR8/2灰白色	良好	(3.18) (2.63)	0.63	4.72	0.42	欠損					
21 342 13 I-10		J10-032AK	7-8期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	内 2.5Y8/3浅黄色 外 7.5Y8/2灰白色	中中不良	(2.56) (2.53)	0.48	2.44	0.42						
22 150 11 L-7		上層	17.03a5k	7期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a2	10YR8/4-7灰白色 内 2.5Y8/3灰白色	中中不良	4.03	4.09	0.70	1222	0.30				
23 181 17			SN04 ミゾ28 8IK	9期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a2	内 2.5Y8/3灰白色 外 10YR8/3浅黄褐色	良好	4.09	4.24	0.65	1219	0.35				
24 324 13 G-10			G10-1-K	367	8期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a2	内 7.5Y8/4に赤褐色 外 10YR8/4に赤褐色	中中不良	3.10	3.14	0.46	4.85	0.32			
25 195 11 N-8			SN02 ミゾ2	9期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	2.5Y8/2灰白色	和耐 有孔	中中不良	(2.94)	3.43	(0.59)	5.12	0.48			
26 179 17		上・中層	ミゾ44 8IK	6-7期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	2.5Y8/2灰白色	和耐 有孔	(3.06)	3.79	0.72	9.26	0.43				
27 330 13 L-5			15-20-K	7-8层 か	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a2	10YR8/2浅黄褐色	中中不良	(3.20)	4.48	0.82	1063	0.40	欠損			
28 344 13 H-11		タチワリ	H11-04-K	7-8期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a2	2.5Y8/1灰白色	和耐	中中不良	(3.27)	4.41	0.57	6.11	0.33	欠損		
29 337 13 I-4			J4-08-K	7-8层 か	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a2	10YR8/1灰白色	中中不良	6.44 (4.20)	0.75	19.88	0.50	欠損				
30 206 17		中層	ミゾ44 18IK	6-7期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅱ-a2	2.5Y8/3浅黄褐色	中中不良	(4.13) (2.77)	0.50	5.49	0.55	欠損				
31 209 17		7層	ミゾ38 dIK	8期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-a2	2.5Y8/2灰白色	良好	(5.10) (3.76)	0.77	14.00	0.47	欠損				
32 169 11 M-5		ミゾ24 東 中	7期	Ⅲ期	手引	Ⅰ-a2	内 2.5Y8/2灰白色 外 10YR8/3浅黄褐色	不良	(2.50)	2.60	0.44	2.51	0.30	欠損 手引無				
33 301 13 H-3			H3-24K	7期	Ⅲ期	手引	Ⅰ-b	10YR8/2灰白色	良好	(5.93)	7.55	0.78	41.81	0.38	欠損 手引無			
34 190 11 K-8		未	ミゾ49-d			Ⅰ-b	2.5Y8/3浅黄褐色	和耐	5.27	5.24	0.65	1673	0.52					
35 175 17		3層	ミゾ38 G IK	8期	Ⅲ期	Ⅰ-b	10YR8/3浅黄褐色	良好	4.34	4.67	0.93	19.96	0.42					
36 178 17			ミゾ19	1656	9期	Ⅲ期	Ⅰ-b	2.5Y8/3灰白色	良好	3.70	4.24	0.74	1184	0.45				
37 326 13 I-10		1層既消	5	9-10期	Ⅲ期	Ⅰ-b	内 2.5Y8/1灰白色 外 7.5Y8/4灰白色	良好	(4.93) (4.70)	0.80	1724	0.38	欠損 板文系					
38 204 12 27.98 60		イコウ				Ⅰ-b	10YR8/3浅黄褐色	良好	4.82	4.92	0.80	17.81	0.55					
39 207 17			ミゾ2 RS IK	6期	Ⅲ期	Ⅲ	Ⅰ-b	2.5Y8/2灰白色	和耐 有孔 苔苔有	良好	3.47	3.60	0.45	5.98	0.42			

1-2 土質加工円盤

規格 実験 No.	区 Gr	組名	選択名 取 No.	種類 区分	集落 時期	組別	分類	発生 孔隙比	色調	胎土	焼成	収縮	横法差	最大厚	重量	孔径	備考
40 194 11 M-6	4組	SD24 b1		7期	Ⅱ期	Ⅲ	1-1-b	2.5Y8/3 淡黄色	術	良好	2.96	2.95	0.72	6.40	0.49 -0.61		
41 336 13 L-4		14-04-K		8期	Ⅱ期	Ⅲ	1-1-b	2.5Y6/1 黄褐色	術	良好	(3.22)	4.83	0.64	9.92	0.45	欠損	
42 168 11 K-6		SD22+ 1 (アクリル)		8期	Ⅱ期	Ⅲ	1-1-b	2.5Y7/3 淡黄色	術	良好	(3.64)	4.47	0.53	6.05	0.19	欠損	
43 208 17 M-6		ミゾ12		7期	Ⅱ期	Ⅲ	1-1-b	10Y0/3 淡黄色	術	良好	(2.61)	(2.70)	0.65	4.74	0.50	6.07(各回 L400あり)	
44 334 13 L-2		12-30-K		7期か 8期か	Ⅱ期か	Ⅲ	2-2-b	2.5Y8/4 淡黄色	術	良好	5.40	5.56	0.82	27.45	0.20		
45 228 11 N-10	中層	SD24 b-h (アクリル)		7期	Ⅱ期	Ⅲ	1-2-b	2.5Y8/2 淡白色	相	良好	5.40	4.98	0.84	21.86	0.56		
46 153 11 C-4	黒褐色粘土	ミゾ3-a		7期	Ⅱ期	Ⅲ	1-2-b	2.5Y8/2 淡白色	術	平均±0.4	4.80	5.01	0.65	12.95	0.30		
47 174 11 M-5		ミゾ24 (アクリル)		7期	Ⅱ期	Ⅲ	1-2-b	2.5Y7/3 淡黄色	術	良好	4.84	4.75	0.74	18.53	0.48		
48 183 17 E-7		SN02 (アクリル)	9	9期	Ⅱ期	Ⅲ	1-2-b	2.5Y5/1 黄灰斑	術	良好	4.37	4.48	0.67	13.20	0.48		
49 340 13 J-2		JZ-27-K		7-8期 か	Ⅱ期か	Ⅲ	1-2-b	10Y8/3 淡黄褐色	術	良好	2.82	3.12	0.74	7.58	0.41		
50 187 17 下層 1K		ミゾ46		6期	Ⅱ期	Ⅲ	1-2-b	10Y8/3 淡黄褐色	術	良好	(4.20)	5.96	0.80	19.72	0.46		
51 167 11 H-10		ミゾ99-b				Ⅲ	1-2-b	2.5Y7/3 淡黄色	術	良好	3.64	(3.09)	0.70	7.47	0.34	欠損	
52 319 13 L-4		ミゾ7		7-9期	Ⅱ期	Ⅲ	1-2-b	2.5Y8/2 淡白色	術	平均±0.1	(2.86)	4.00	0.73	9.10	0.30	欠損	
53 193 11 H-8	上層 黒褐色粘土	ミゾ49-b				Ⅲ	1-2-b	10Y8/2 淡白色	術	良好	(3.66)	(3.29)	0.76	10.46	0.38	欠損	
54 211 17 1-5層		ミゾ44 9.7%内		6-7期	Ⅱ期	Ⅲ	I-1-a (アクリル)	2.5Y8/2 淡白色	術	良	4.78	4.77	0.76	18.28	0.42		
55 10 26		ミゾ13	184	9-10期	Ⅱ期	Ⅲ	I-1-a	10Y8/4 淡黄灰斑 外 7.5Y7/6 淡褐色	術		3.45	3.30	0.50	7.39	0.45	土作 選機 工具	
56 160 11 L-2	上層 黒褐色粘土	ミゾ22-a		8期	Ⅱ期	Ⅲ	I-1-a2	7.5Y8/4 淡黄褐色	相	平均±0.1	3.80	3.90	0.58	9.67	0.42		
57 205 17 C-7		ミゾ19-1		9期	Ⅱ期	Ⅲ	I-1-a2	2.5Y8/2 淡白色	術	平均±0.1	3.79	3.42	0.73	9.20	0.42	乳化剤なし 加熱あり	
58 322 13 H-8.9		ミゾ11-10 (岩呂)				Ⅲ	I-2-a2	10Y8/3 淡黄褐色	術	平均±0.1	3.60	(3.10)	0.74	8.46	0.42		
59 323 13 L-10	精査	1層過濾		9-10期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a2	2.5Y7/2 淡黄色	術	不良	3.65	4.19	0.84	14.77	0.42		
60 341 13 L-4		J4-03-K		8期か	Ⅱ期か	Ⅲ	I-2-a2	2.5Y8/2 淡白色	術	良好	5.53	4.49	0.68	14.92	0.42		
61 152 11 K-	上層	X-09-a-k				Ⅲ	I-1-b	2.5Y8/3 淡黄色	術	良好	4.00	4.40	0.80	16.23	0.42		
62 161 11 L-4		ミゾ22-5		8期	Ⅱ期	Ⅲ	I-1-b	2.5Y8/2 淡白色	術	良好	3.66	3.40	0.64	9.49	0.42	欠損	
63 171 11 M-5	下層	SD24		7期	Ⅱ期	Ⅲ	I-1-b	10Y8/2 淡白色	術	良好	2.93	2.93	0.77	6.54	0.42		
64 338 13 L-4		14-03-K		7期か	Ⅱ期か	Ⅲ	I-1-b	内 10Y8/7 に2-5 淡黄色 外 2.5Y8/1 淡白色	術	良好	(6.05)	4.98	0.84	24.76	0.42	欠損 あけなれ L-100あり	
65 327 13 F-5		F5-02-K	9	9期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a1	2.5Y8/1 淡白色	術	平均±0.1	4.00	4.20	0.85	17.84	0.42		
66 335 13 L-2		12-30-K		7期か	Ⅱ期か	Ⅲ	I-2-a1 (アクリル)	外 10Y8/3 に2-5 淡褐色	術	良好	4.51	4.56	0.69	15.94	0.42		
67 347 26		ミゾ43 III-K		9-10期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a1	内 2.5Y8/2 淡白色 外 10Y8/3 淡黄色	術	不良	4.48	3.83	0.74	17.00	0.42		
68 226 11 N-7	I層	N7-01-k	7	7期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a2	10Y8/4 淡黄色	相	平均±0.1	5.76	5.65	0.72	24.32	0.42		
69 158 11 H-9	F層	SN01 ミゾ35-f				Ⅲ	I-2-a2	10Y8/6 淡褐色	術	不良	4.60	4.42	0.82	15.61	0.42		
70 202 15 46-51 52		SD01	15			Ⅲ	I-2-a2 外	10Y8/4 淡黄褐色	術	平均±0.1	5.77	(5.76)	0.79	22.44	0.42		
71 213 26		M1C		8-10期	II-III期	Ⅲ	I-2-a2	内 10Y8/4 に5-7 淡褐色	術	良好	4.52	4.40	0.67	13.11	0.42		
72 221 11 K-8		K8-06-K	1583	9-10期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a2	10Y8/2 淡白色	術	不良	4.17	4.49	0.83	16.74	0.42		
73 227 11 N-10	上層	SD24	7	7期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a2	2.5Y8/2 淡白色	術	平均±0.1	4.36	4.62	0.68	18.82	0.42		
74 198 12 30-58		(ミゾ04)		9期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a2	2.5Y8/3 淡黄色	術	平均±0.1	4.34	4.13	0.73	13.40	0.42		
75 332 13		14-01-K		7-9期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a2	10Y8/2 淡白色	相	平均±0.1	3.17	3.25	0.69	7.54	0.42		
76 157 11 D-8		SK83				Ⅲ	I-2-a2	2.5Y8/3 淡黄色	術	平均±0.1	5.20	(5.08)	0.75	12.76	0.42	欠損	
77 186 17		SN02 ミゾ19 Q アクリル	9	9期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-b	2.5Y7/3 淡黄色	術	良好	6.43	6.65	0.58	28.03	0.42		
78 185 17 H-10		SN01 ミゾ4	7	7期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-b	内 2.5Y8/3 淡黄色	術	良好	4.48	5.09	0.74	19.29	0.42		
79 188 6 K-02		SP108	5-6期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-b	2.5Y7/3 淡黄色	術	良好	4.12	4.05	0.62	11.79	0.42			
80 216 28		ミゾ2 アクリル	6	6期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-b	2.5Y7/2 淡黄色	術	良好	4.64	4.36	0.90	19.73	0.42		
81 151 11 M-5	褐色砂	ミゾ22n		8期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-b	内 10Y8/3 淡黄色 外 10Y8/2 淡黄褐色	術	良好	5.73	6.06	0.65	25.76	0.42		
82 189 11 I層	1b-ミゾ アクリル					Ⅲ	I-2-b	2.5Y8/2 淡黄色	相	良好	5.00	5.48	0.75	25.43	0.42		
83 204 17 F-9		ミゾ12		7期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-b	2.5Y7/3 淡黄色	術	良好	5.30	4.95	0.71	19.03	0.42		
84 197 12 28-56		ミゾ01	6-9期	II-III期	Ⅲ	I-2-b	内 2.5Y8/3 淡黄色	相	平均±0.1	3.87	4.19	0.73	12.63	0.42			
85 177 17 E-9	下層	ミゾ1	6期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-b	2.5Y7/2-6/2 淡黄色	術	良好	(3.68)	4.51	0.68	13.93	0.34	欠損		
86 155 11 L-5	下層	ミゾ22-f	8期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a1	2.5Y8/2 淡白色	術	良好	4.98	4.82	0.80	21.84	なし			
87 203 15		ミゾ18	1170	5-6期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a1	2.5Y7/2 淡黄色	術	良好	4.10	3.60	0.78	14.06	なし		
88 219 11 N-9	A層	N9-01-c-k		7-9期	II-III期	Ⅲ	I-2-a1	2.5Y7/2 淡黄色	術	良好	3.75	3.90	0.71	10.99	なし		
89 223 11 M-7.8		SD24 D1K	7	7期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a1 (アクリル)	内 2.5Y8/4 淡黄色 外 10Y8/4 淡黄色	術	良好	4.52	4.79	0.78	17.10	なし		
90 156 11 A-5	上層	ミゾ4-a				Ⅲ	I-2-a2	10Y8/4 淡黄色	術	平均±0.1	3.56	3.67	0.71	12.00	なし		
91 346 12 F-10		ミゾ2	7期	Ⅱ期か	Ⅲ	I-2-a2	2.5Y8/4 淡黄色	術	良好	6.39	6.88	0.63	33.40	なし			
92 225 11 M-7	中層	SD02 C1K	7	7期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a2	2.5Y8/2 淡黄色	術	良好	6.16	6.15	0.65	30.00	なし		
93 212 26 S-8.8		6シルト-1				Ⅲ	I-2-a2	10Y8/2 淡白色	術	良好	4.65	4.70	0.75	18.19	なし		
94 214 26 G-3.4	I層	SK87		9-10期	Ⅱ期	Ⅲ	I-2-a2	10Y8/4 淡黄褐色	術	良好	4.95	4.60	0.69	17.80	なし		

1-3 土質加工円盤

規格 No.	実測 No.	I.S. Ge	別名	選択名	取 扱 No.	種類 区分	集積 時期	出荷 時期	分類	発生 原因部	色調	触土	焼成	収容 量	機器法量	最大荷 重	孔径	備考
95	343	13	F-11	上層	F11-02-K	7期	日系	直	a-2	2.5YR8/2灰白色	術	良好	3.02	3.29	0.71	8.40	なし	
96	148	11	1.9		J9-084-k	59	7.9期	日	直	b	10YR8/3淡黄褐色	術	良好	6.60	6.70	0.70	38.12	なし
97	154	11	5.4	上層	ミゾ9-b				直	b	内 2.5Y6/2灰黄色 外 2.5Y8/3淡黄色	術	良好	5.43	5.57	0.70	20.25	なし
98	200	12	29.57		ミゾ94	9期	直系	直	b	2.5Y8/3淡黄色	術	良好	5.01	5.46	0.93	27.92	なし	
99	170	11	M-5	上層 中	ミゾ24	7期	直系	直	b	2.5Y6/2灰黄色	術	良好	3.34	3.66	0.74	10.82	なし	
100	11	C-10		ミゾ002					直	1-1-a2	2.5YR8-6浅黄褐色	術	中等好	1.80	3.20	0.48	2.65	0.36 欠損
101	229	11	A-4	包含層			直	直	1-2-a1	内 2.5Y7/3浅黄色 外 2.5Y8/2灰白色	術	良好	4.85	(4.28)	0.59	13.42	0.45	
102	230	11	G-10	包含層			直	直	2-2-a2	内 2.5Y8/3淡黄色 外 2.5Y8/2灰白色	和順	良好	4.14	(3.93)	0.81	14.39	未通過	
103	231	11	B-5	包含層			直	直	2-1-a2	2.5Y8/3淡黄色	和順	中等好	4.69	4.72	0.67	13.64	未通過	
104	232	11	K-3	包含層			直	直	2-2-a2	内 10YR7/3-25-淡褐色	和順	良好	4.22	4.24	0.64	11.26	未通過	
105	233	11	K-5	包含層			直	直	1-1-a1	2.5Y7/3浅黄色	術	良好	4.85	4.77	0.71	18.17	0.64	
106	234	11	M-5	包含層			直	直	1-1-a1	2.5Y7/4浅黄色	術	不良	(3.91)	5.14	0.65	14.65	0.65 欠損	
107	235	11	D-8	包含層			直	直	1-1-a2	内 2.5Y7/3灰黄色 外 10YR8/2灰白色	術	中等好	3.82	(2.19)	0.54	5.22	0.45 欠損	
108	236	11	E-2	包含層			直	直	2-2-a2	内 2.5Y7/2灰黄色 外 2.5Y7/2灰白色	和順	良好	3.60	(4.60)	0.76	12.98	未通過	
109	237	11	E-5	包含層			直	直	2-1-a2	2.5Y8/2灰白色	和順	良好	3.53	(2.64)	0.56	5.74	0.39 欠損	
110	238	11	G-9	包含層			直	直	2-2-a2	内 2.5Y8/2灰白色 外 2.5Y8/2灰白色	和順	良好	3.17	3.22	0.62	6.37	未通過	
111	239	11	G-9	包含層			直	直	2-1-a2	2.5Y8/2灰白色	和順	不良	3.64	3.67	0.90	12.51	0.53	
112	240	11	H-5	包含層			直	直	2-2-a2	内 10YR7/3-25-淡褐色	和順	良好	3.84	3.69	0.66	10.59	未通過	
113	241	11	H-0.30	黒泥層			直	直	1-1-a2	10YR8/2灰白色	術	良好	2.67	(1.86)	0.60	2.99	0.52 欠損	
114	242	11	L-3	包含層			直	直	2-1-a2	2.5Y8/3淡黄色	術	良好	2.86	2.84	0.60	4.89	未通過	
115	243	11	I-6	包含層			直	直	2-1-b	外 10YR8/3浅黄色	術	不良	3.44	(3.00)	0.63	5.96	0.30	
116	244	11	K-2	包含層			直	直	2-1-a2	内 2.5Y6/2灰黄色 外 2.5Y8/3浅黄色	術	中等好	2.54	3.48	0.56	3.82	未通過	
117	245	11	K-4	包含層			直	直	1-1-a2	2.5Y8/4浅黄色	術	良好	(2.77)	3.60	0.59	5.88	0.40 欠損	
118	246	11	L-2	包含層			直	直	2-2-a2	2.5Y8/2灰白色	術	良好	3.09	3.21	0.46	5.05	未通過	
119	247	11	L-7	下層	63a		直	直	1-1-a1	2.5Y8/2灰白色	術	良好	3.60	(3.15)	0.42	5.34	0.39 欠損	
120	248	11	G-10	包含層			直	直	2-2-a2	2.5Y8/2灰白色	和順	良好	3.47	3.44	0.55	7.07	未通過	
121	249	11	K-4	包含層			直	直	2-2-a2	2.5Y8/3淡黄色	和順	中等好	4.81	4.62	0.69	16.42	未通過	
122	250	11	M-6	包含層			直	直	2-2-b	内 2.5Y6/1黄色	和順	中等好	5.92	(5.25)	0.92	31.62	未通過	
123	251	12	28.59				直	直	1-1-b	内 2.5Y6/2灰黄色 外 2.5Y7/3浅黄色	術	不良	4.79	4.78	0.98	25.84	0.41	
124	252	12	27.61	2層 3nd	旧河床	7-8期	直	直	2-2-a1	2.5Y8/2灰白色	和順	良好	3.06	3.04	0.73	8.25	なし	
125	253	12	27.63	2層 3nd	旧河床	7-8期	直	直	1-2-b	内 2.5Y8/1灰白色 外 2.5Y8/2灰白色	術	中等好	4.68	(2.89)	0.69	8.23	0.35 欠損	
126	254	12	28.58	落ち込み 04			直	直	2-2-b	外 2.5Y8/2灰白色	和順	中等好	2.27	2.17	0.54	3.16	未通過	
127	255	12	28.64	1ライン 1層 1周	旧河床	64	9期	直	直	1-1-a1	2.5Y7/3浅黄色	術	良好	3.36	3.60	0.64	9.42	0.40
128	256	12	29.59	落ち込み 04			直	直	1-2-a1	10YR8/2灰白色	和順	良好	3.40	3.24	0.70	6.92	0.51 両側に未固 化孔孔あら れ無穿孔	
129	257	12	27.63	2層 3nd	旧河床	7-8期	直	直	2-1-a2	2.5Y8/3淡黄色	和順	良好	3.81	4.04	0.69	11.42	0.46	
130	258	12	28.63	2層 1st	旧河床	8期	直	直	2-1-b	10YR8/3浅黄色	和順	中等好	5.47	6.22	1.00	41.44	なし	
131	259	12		リカクラン 51K			直	直	1-2-a1	内 7538/4深褐色 外 10YR8/2灰白色	術	良好	5.10	5.06	0.84	24.05	0.44 両側面凹凸 有り(手留せり等)	
132	260	12	26-56	包含層			直	直	1-2-a1	10YR8/2灰白色	術	良好	(2.68)	4.50	0.54	7.05	0.41 欠損	
133	261	12	27-60	包含層			直	直	2-2-b	2.5Y8/2灰白色	術	良好	5.69	5.65	0.84	27.00	未通過	
134	262	12	27-61	旧河床			直	直	2-2-b	2.5Y7/4浅黄色	術	良好	4.90	5.32	0.76	22.48	なし 外側面形 状不整(削れ あら)	
135	263	12	27-61	旧河床			直	直	1-2-b	外 2.5Y7/4浅黄色	術	良好	3.84	3.73	0.75	13.22	0.48 削れ	
136	264	12	27-63	旧河床			直	直	2-2-b	2.5Y7/3浅黄色	和順	不良	6.62	6.90	0.84	43.79	なし	
137	265	12	28-56	包含層			直	直	1-1-b	2.5Y7/2灰白色	和順	不良	3.16	3.74	0.84	13.33	未通過	
138	266	12	28-59	包含層			直	直	2-2-a2	2.5Y8/3浅黄色	和順	良好	3.40	3.94	0.60	8.60	なし	
139	267	12	28-59	包含層			直	直	1-1-b	10YR8/2灰白色	術	良好	4.26	4.46	0.62	12.62	0.67 両側面 凹凸あり くしら	
140	268	12	29-58	包含層			直	直	2-2-b	2.5Y8/3浅黄色	術	良好	3.06	3.49	0.60	7.32	未通過	
141	269	12	29-59	包含層			直	直	1-2-a2	10YR8/2灰白色	和順	良好	3.10	3.39	0.75	7.50	0.39 未固 化孔あら	
142	270	12	29-59	包含層			直	直	2-2-b	2.5Y8/4浅黄色	和順	良好	4.53	4.79	0.78	18.61	未通過	
143	271	12	32-65	包含層			直	直	2-2-b	2.5Y8/3浅黄色	和順	良好	3.00	3.18	0.45	4.79	未通過	
144	272	12	33-56	包含層			直	直	2-2-b	2.5Y8/4浅黄色	和順	良好	3.76	3.71	0.98	12.11	なし	
145	273	12	A-6		31-a		直	直	2-2-b	外 2.5Y8/2灰白色	和順	中等好	(2.82)	(2.95)	1.01	6.53	未通過 平面二角孔	
146	274	12	A-3	下層	39-a		直	直	2-1-b	2.5Y7/3浅黄色	和順	不良	3.13	3.53	0.70	8.71	未通過	
147	275	12	A-11	黒色土	4-c	9-10期	直	直	1-2-a1	2.5Y8/2灰白色	術	良好	(2.49)	2.15	0.67	2.53	0.83 欠損	
148	276	12	A-3		396		直	直	1-1-b	10YR8/3浅黄褐色	和順	良好	(4.79)	(2.65)	0.67	8.78	0.49 欠損	
149	277	26	D-6	中層			直	直	2-2-b	2.5Y8/2灰白色	和順	不良	3.03	(2.89)	1.09	10.78	なし	
150	278	26	E-3	7.1層	アゼ内	9-10期	直	直	2-2-b	2.5Y8/2灰白色	術	良好	3.16	3.17	0.53	6.80	なし	
151	279	26	C-2	7層			直	直	1-1-a1	2.5Y8/3浅黄色	術	良好	5.12	5.74	1.10	39.46	0.20	
152	280	26	D-7	中層	a		直	直	1-1-b	10YR8/2灰白色	術	良好	5.41	5.17	0.63	20.07	0.34	
153	281	26	E-6	0.10層			直	直	2-2-b	10YR8/2灰白色	術	良好	5.45	4.98	1.26	40.57	なし	
154	282	26	E-6		4-5層	1期	直	直	2-1-b	10YR8/2灰白色	術	良好	6.36	7.37	0.67	36.70	なし	

1-4 土質加工用盤

規格 実測 No.	区 Gr	船名	港名	取上 No.	標識区分	集積 時期	出荷期	分類	発泡 率(%)	色調	胎土	焼成	収容 量	機法量	最大厚 度	重量	孔径	備考
285 2B 3.8	40-80	包含船			裏	II-2-a2 内	10YR8/4 淡黄褐色	術	良好	(3.29)	3.82	0.53	7.00	4寸通				
286 2B D-4.5	包含船				裏	II-1-b	2.5YR8/2 从白色	術	良好	(3.06)	(3.84)	0.57	5.90	未流通				
287 2B E-2	包含船				裏	II-2-b 内	10YR8/3 淡黄褐色	術	良好	3.33	2.97	0.73	7.78	4寸通				
288 2B EF-3.4	包含船				裏	II-a2	10YR7/2.5-3.2 淡黄褐色	術	II	3.07	3.10	0.71	7.63	なし				
289 2B C-4	包含船				裏	II-1-b	内 10YR7/1灰 白	術	平や良	3.48	(2.00)	0.69	5.07	4寸通 欠損				
290 2B G-4	包含船				裏	II-2-a2 外	2.5YR8/3 淡黄褐色	術	良好	4.24	4.09	0.60	11.72	0.44				
291 2B F-4	包含船				裏	I-1-a1 (E/F/P)	2.5YR8/4 淡黄褐色	術	良好	(3.90)	5.76	0.77	15.26	0.43 欠損				
292 2B H-2.3	包含船				裏	I-1-b	10YR8/3.2-3.5 淡黄褐色	術	良	(4.37)	(2.77)	0.54	7.44	- 欠損				
293 2B 3A 35-7.9	包含船 (高麗)				裏	II-2-b 外	2.5YR7/2 淡黄褐色	術	平や良	(3.62)	5.33	1.50	29.78	未流通				
294 2B G-3	包含船				裏	II-2-b 内	10YR8/3 淡黄褐色	術	良好	5.24	6.37	0.99	40.64	未流通				
295 2B L-3	包含船				裏	I-2-a1 外	2.5YR8/2 淡黄褐色	術	平や良	3.56	3.72	0.57	8.13	0.70				

2-1 土種・土玉類

規格 実測 No.	区 Gr	船名	港名	取上 No.	種類	組成 区分	集落時期	分類	色調	胎土	焼成	器高	幅	重積	孔径	備考
100 19 11 M-9	中・下層	S024 E-II区 I		6-7期	Ⅲ期	I-a	10YR7/3に少い黄褐色	術	平や良	Z-43	2.67	17.33	0.55	一次焼熱あり		
101 47 1 C-10	理土	南東部				I-a	2.5YR6/2 黄褐色	術	良好	2.25	2.32	11.82	0.36			
102 45 28WA 35-7.7				35-77-03-P		I-a	2.5YR7/2 黄褐色	術	良好	1.88	2.13	8.01	0.19			
103 27 12 33-6.4	2層	33-64-01 K				I-a	10YR7/1灰白色	術	良好	2.43	2.18	10.34	0.45			
104 44 26 E-7	泥色埴土 II層	理植泥灰		9-10期	Ⅲ期	I-a	2.5YR7/2 黄褐色	術	良好	2.88	2.70	20.28	0.33			
105 317 13 G-9		G-03-K		9-10期	Ⅲ期	I-a	2.5YR7/1 灰白色	術	良好	2.28	2.06	8.20	0.28	二次焼熱あり		
106 36 17 b-23-A						I-a	10YR7/2に少い黄褐色	術	平や良	1.88	1.81	6.21	0.34	塑性工具で擦文		
107 16 11 N-9 中層(5層)	N-01-K			7.9期	Ⅲ-Ⅳ期	I-a	10YR6/2灰白色	術	平や良	3.19	3.06	26.40	0.70			
108 17 11 N-9 中層(6層)	N-01-K			7.9期	Ⅲ-Ⅳ期	I-a	10YR7/4に少い黄褐色	術	良好	3.39	3.16	28.96	0.57			
109 18 11 N-8	N-01-K B アゼン内			7.9期	Ⅲ-Ⅳ期	I-a	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	3.22	3.71	34.41	0.68			
110 25 12 4層	カクタニ E-II区 I					I-a	10YR8/2 灰白色	術	良好	3.67	3.79	49.10	0.44			
111 29 11 K-8		S8-06-K	1421	9-10期	Ⅲ期	I-a	10YR7/3に少い黄褐色	術	良好	3.44	(3.24)	15.29	0.82			
112 21 11 D-4 上層	ミゾタ b			7.8期	Ⅲ期	I-a	10YR8/2灰白色	術	良好	0.17	(3.18)	(3.94)	0.65			
113 316 13 G-9		G-02-K		9期	Ⅲ期	I-a	2.5YR7/1 灰白色	術	良好	3.06	3.22	29.20	0.58			
114 37 26 E-10	アゴ内 8.3 層	理植泥灰		9-10期	Ⅲ期	I-a	10YR5/1 黑褐色	術	良好	3.80	3.88	56.30	0.68			
115 39 26 E-8 8層新上塗		理植泥灰		10期	Ⅲ期	I-a	10YR8/2 灰白色	術	良好	3.79	3.47	38.56	0.63			
116 41 27 25-9.3	灰 90 上塗			10期	Ⅲ期	I-a	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	0.73	3.13	33.98	0.60			
117 42 26 H-10		SK114 B/E Ⅲ期か				I-a	10YR8/2 灰白色	術	良好	2.96	2.97	(14.06)	0.65			
118 34 17 E-9 中層	ミゾタ アゼン			6期	Ⅲ期	I-a	10YR8/1 灰白色	術	平や不良	(2.09)	3.41	9.32	0.51			
119 318 13 F-1	F-16 P					I-a	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	(1.80)	(2.65)	0.40	0.59			
120 31 16 D-6 中層	ミゾタ					I-a	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	3.65	3.95	54.78	0.51			
121 38 26 D-6a 中層	理植泥灰					I-a	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	4.04	4.22	62.42	0.90			
122 22 11 K-8	S8-06-K	933	9-10期	Ⅲ期	I-a	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	5.46	4.05	(75.44)	0.47	側面に斑点・底跡あり			
123 35 17 SX02	ミゾタ RSK			6期	Ⅲ期	I-a	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	(4.03)	3.00	(17.80)	0.91			
124 40 26 ミゾタ 15-16				9-10期	Ⅲ-Ⅳ期	I-a	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	(4.24)	(2.50)	(15.29)	0.63			
125 23 11 I-3	ミゾタ 19			7.7期	Ⅲ期	I-b1	10YR7/3に少い黄褐色	術	良好	8.82	2.59	16.39	0.43			
126 24 11 B-5 E層						I-b1	10YR8/2 灰白色	術	平や良	4.58	2.94	43.32	0.64			
127 48 2 墓石	理植泥灰	774				I-b1	2.5YR7/2 黄褐色	術	良好	4.58	3.16	48.71	0.58			
128 26 12 28-5.8	底ち込み 04					I-b1	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	(3.12)	3.57	(16.05)	0.83			
129 32 17 M-4 9層	ミゾタ 1g					I-b1	10YR7/2に少い黄褐色	術	良好	6.11	3.33	65.37	0.67			
130 28 12 26-5.5	ミゾタ 上塗と底塗 1層			6-7期	Ⅲ期	I-c1	10YR6/2 黑褐色	術	良好	3.00	2.20	10.81	0.49	二次焼熱あり		
131 29 12 29.1						I-c1 底塗	2.5YR5/1 黑褐色	術	良好	2.81	1.95	9.13				
132 46 28 F-4	包含船					I-d	2.5YR7/2 黄褐色	術	良好	2.34	2.59	13.32	0.27			
133 30 12 35-5.6						I-e	10YR8/2 灰白色	術	良好	1.89	1.82	6.52	0.39			
134 49 11 M-4 地山面上	ミゾタ 22 d			8期	Ⅲ期	2-f 底塗	2.5YR3/1 黑褐色	術	良好	(2.91)	1.18	5.03		端面に傷のよくな	端面	
135 50 17 E-9	ミゾタ			6期	Ⅲ期	2-f 底塗	2.5YR7/2 黄褐色	術	平や良	3.90	2.67	10.24	0.20	燒成後守孔		
136 43 26 D-6 上層						I-c2	10YR8/3 黑褐色	術	良好	3.23	2.86	23.97	0.95	筋沟付上層		
137 33 17 B-10	底ち込み					I-c2	2.5YR7/2 黑褐色	術	良好	(3.57)	8.18	(1.67)	筋沟付上層			
138 51 11 F-2 強含層						I-a	2.5YR7/3 黑褐色	術	平や良好	(3.50)	(2.65)	(10.31)	0.80			
139 52 11 M-2 強含層						I-c2	2.5YR6/6 黑褐色	術	良好	4.55	(4.80)	(37.16)	1.97	筋沟付上層の のへり記号あり		
140 53 12 28-6.3 2層 2nd	理植泥灰			Ⅲ期	I-a	2.5YR8/1 黑褐色	術	良好	(4.59)	(2.60)	(14.98)	0.79				
141 52 12 34-6.3						I-a	2.5YR7/2 黄褐色	術	平や良好	1.51	1.52	2.64	0.20			
142 55 12 35-6.3						I-a	2.5YR5/2 黑褐色	術	良好	1.71	1.94	6.17	0.30			
143 56 14 26-5.5 1層	理植泥灰			6-7期	Ⅲ期	I-b	2.5YR7/2 黄褐色	術	良好	2.14	2.39	9.25	0.27	筋沟付上層		
144 57 13 E-3						I-a	2.5YR6/6 黑褐色	術	不良	2.80	2.54	(7.61)	0.60	一次焼熱あり		
145 58 17 A-9						I-c2	2.5YR7/2に少い黒褐色	術	良好	4.29	4.57	7.51.1	1.75	筋沟付上層		
146 59 26 28-2 b-1	包含船					I-b1	10YR8/2 灰白色	術	平や良好	4.35	3.63	58.60	0.74			

2-2 土種・土玉類

規範 実測 No.	区 Gr	層名	遺構名	取上 No.	様相区分	集落時期	分類	色調	胎土	焼成	器高	幅	重量	孔径	備考
60	28	G-2	追古層				Z-a	2.5YR 7/1 岩白色	軽削	良好	3.62	3.55	38.71	0.79	
61	28	G-3	追古層				Z-a	2.5YR 8/2 岩白色	削	良好	3.03	3.52	35.55	0.44	
62	28	O-2.3					Z-a	2.5YR 7/2 岩白色	削	良好	3.28	3.33	32.72	0.59	

3 分鉄形土器

規範 実測 No.	区 Gr	層名	遺構名	取上 No.	様相区分	集落時期	色調	胎土	焼成	全長	幅	最大厚	孔径	備考
138	301	17	SX06 1.2.27 D区	270	9期	追古	2.5YR 8/2 岩白色	削	良好	4.37	(上) 7.64	1.11	0.23	表:3本1箇の管状工具で鉄突穴、裏: ミサキ調査

4-1 ミニチュア土器

規範 実測 No.	区 Gr	層名	遺構名	取上 No.	様相区分	集落時期	器種	底面 形状	色調	胎土	焼成	口径	最大 厚径	底径	周径	備考			
139	122	I-1	M-2	黑色砂	ミゾ22a	8期	Ⅱ期	鉢	平	5YR 4/1 岩色	磨	不良	3.80	3.50	3.00	3.20	2.85	0.40	
140	82	18	45-47	3'層	ミゾ1-e	7-9期	Ⅱ-Ⅲ期	鉢	平	10YR 8/4 浅黄色	削	良好	4.40	3.00			3.70	0.80	
141	121	I-1	J-4	追古層				(無鉢)	平	2.5YR 8/2 岩白色	削	中中不良	2.40	3.10	2.10		2.70	0.30	
142	86	11	K-6	下層	K6-17a-k	8期か	Ⅱ期か	鉢(無鉢)	平	2.5YR 8/3 岩黄色	削	中中不良	5.30	6.20	2.60		6.60	1.10	
143	77	11	B-8		S873	15	7期か	Ⅱ期か	コップ形	丸	10YR 8/3 岩黄色	削	中中石井	良好	(2.65)	0.70		3.90	1.40
144	kw19	13.1.6	フクト	J6-15P				コップ形?	丸?	10YR 8/2 岩黄色	削	良好					(3.00)	沈文系	
145	134	11	J-4	追古層				コップ形?	丸?	10YR 8/2 岩黄色	削	良好					(2.75)	0.30	
146	93	11	E-6	V2層	d			高杯?	脚台	2.5YR 8/2 岩白色	削	良					1.30	0.43	
63	11	J-6	追古層					壺 or 跖?	平	2.5YR 8/2 岩白色	削	良好					1.10	内赤外乳化	
64	11	MN-10	中層	SD24 F1K		7期	Ⅱ期	躰?	平	2.5YR 8/2 岩白色	削	中中不良		(2.00)			2.10	0.90	
65	12	28-55		28-55-03 K				壺 or 跖?	平	2.5YR 8/2 岩黄色	削	中中不良		(1.60)			(1.30)	0.70	
66	11	E-14	追古層					脚台?	脚台	2.5YR 8/2 岩黄色	削	良	2.10	2.10	1.80	1.60		NaCル注目: 0.58-0.86	
67	11	G-3	追古層					高杯?	脚台	2.5YR 8/3 岩黄色	削	良	2.30	2.40	1.60	2.00	0.90		
68	11	K-3	追古層					コップ形?	丸?	2.5YR 8/2 岩白色	削	良好	1.80	1.10			1.10	0.90	
69	11	K-3	追古層					脚台?	脚台	2.5YR 8/2 岩白色	削	良好	1.60	0.80			1.10	1.40	
70	11	K-7	下層	K7-07-8		7-10期	Ⅱ-Ⅲ期	躰?	平	2.5YR 8/2 岩白色	削	中中不良	中中不良	1.40	1.00			1.80	0.70
71	11	L-5		SD22		8期	Ⅲ期	躰?	一	2.5YR 8/3 岩黄色	削	中中不良	中中不良	2.15	0.40			1.35	0.70
72	11	L-6	追古層					壺 or 跖?	平	2.5YR 8/2 岩黄色	削	中中不良	中中不良	2.30	2.00			1.70	0.90
73	11	M-3	追古層					脚台	脚台	2.5YR 8/2 岩白色	削	中中不良	(2.65)	1.70	1.90	1.80		中心丸注: 0.53	
74	11	M-4		ミゾ24 3		7期	Ⅱ期	壺 or 跖?	平	2.5YR 8/2 岩黄色	削	中中不良	1.60	1.00			1.30	0.90	
75	12			ミゾ4 496		9期	Ⅲ期	脚台?	脚台	2.5YR 7/2 岩黄色	削	中中不良	中中不良	(1.75)	1.20	1.40	1.10	0.20	
76	17	13-6	中層	ミゾ46 1K		5-6期	Ⅱ期	高杯?	脚台	2.5YR 8/2 岩黄色	削	良好	(2.00)	(1.60)			1.40	1.70	1.20
78	12	27-58		27-58-01 K		7期	Ⅲ期	躰?	脚台	10YR 8/2 岩白色	削	中中不良		(3.00)	(3.05)	0.75		2.40	0.60
79	26	F-14	54層	アゼ内		9期	Ⅲ期	コップ形	丸	2.5YR 8/3 岩黄色	削	中中不良	中中不良	0.50		(2.40)		1.00	
80	17	D-6	フク土	SX08 1.2.19 A.3.K		10期	Ⅲ期	躰?	脚台	2.5YR 8/2 岩白色	削	中中不良	中中不良	0.50		(2.40)		0.60	
81	17	H-4	中・下層	ミゾ4		7期	Ⅲ期	躰?	平	10YR 8/2 岩白色	削	良		2.80				(3.20)	1.10
83	11	2.5	最下層	ミゾ22d		8期	Ⅲ期	躰?	平	2.5YR 8/2 岩黄色	削	良好		2.70				(3.20)	1.10
84	11	C-4		ミゾ3.a		7期	Ⅲ期	躰?	平	2.5YR 8/2 岩白色	削	中中不良		3.40				(3.20)	1.00
85	11	E-2	上・中層	ミゾ16		7-8期	Ⅲ期	躰?	脚台	10YR 8/3 岩黄色	削	中中不良	中中不良	0.50		(3.00)	3.00	5.80	0.60
87	11	L-6		SD22 A No.21		8期	Ⅲ期	躰?	脚台?	2.5YR 8/2 岩白色	削	中中不良	中中不良	(2.40)	2.30	(2.50)	1.20		
88	11	L-6	中層	SD22 A		8期	Ⅲ期	壺 or 跖?	平	2.5YR 8/1 岩白色	削	不良		2.90				(3.50)	0.80
89	11	ハイド						脚台?	脚台	2.5YR 8/3 岩黄色	削	不良	(4.20)	3.40	2.40	2.90	0.80		
90	27	24-95		たちわら内				躰?	脚台	2.5YR 8/3 岩黄色	削	良好		2.80	2.40	2.95	1.60		
91	17	F-3	上面	ミゾ46 6区		5-6期	Ⅲ期	躰?	脚台	2.5YR 8/2 岩白色	削	中中不良		2.90	2.80	2.90	1.70		
92	26	F-10	埋植後谷	22-3層		4期か	Ⅰ期	躰?	脚台	2.5YR 8/2 岩白色	削	中中不良		3.70	3.00	3.40	0.90		
94	11	L-6	上・3層	SD22 A		8期	Ⅲ期	高杯 or 脚	脚台	2.5YR 8/2 岩白色	削	良好		4.00	2.60	(3.40)	2.20		
95	11		4層	ミゾ24 R		7期	Ⅲ期	高杯 or 脚	脚台	10YR 8/2 岩白色	削	中中不良		3.60	2.40	4.20	2.70		
96	11	MN-9		SD24 F アゼ内		7期	Ⅲ期	高杯 or 脚	脚台	2.5YR 7/2 岩黄色	削	中中不良		(3.90)	2.40	2.00	2.40		
97	11	E-2	2層	ミゾ8 b		7期	Ⅲ期	躰?	脚台	2.5YR 8/3 岩黄色	削	中中不良		2.90	2.20	(2.30)	0.80		
98	11	H-2	下層	ミゾ21		7期	Ⅲ期	壺 or 跖?	平	2.5YR 8/3 岩白色	削	良好		2.60				(2.50)	0.80
99	11	L-2		ミゾ20 b				脚台?	平	2.5YR 8/3 岩黄色	削	良好		2.60				(1.80)	1.00
100	11	L-8	上・2層	SD22 D		8期	Ⅲ期	壺 or 跖?	平	2.5YR 8/1 岩白色	削	中中不良		2.60				(1.90)	1.20
101	11	M-2	上層	ミゾ22 a		8期	Ⅲ期	壺 or 跖?	平	2.5YR 8/2 岩黄色	削	良好		2.40				(2.10)	0.60

4-2 ミニチュア土器

規範 実測 No.	区 Gr	肩名	遺物名	取上 No.	種類 区分	集落 時期	器種	構造 特徴	色調	胎土	焼成	口径	最大 直径	底径	瓶詰 法	瓶詰 法	高さ	備考
102	II	M-6	上削	SD24 b-b アゼ内	7期	Ⅱ期	鉢	直腹 以降	赤或 跡?	平	10YR6/3淡黄色 相密	中や良	2.20 ~2.95	(2.00)	0.80			
103	II	N-11		N11-01-K					赤或 跡?	脚台?	10YR7/2に赤い痕 跡?	中や不良	2.50	2.50	(1.80)	0.60		
104	12	27-56		27-56-04-K			鉢		半?	2.5Y6/2灰白色 相密	中や良	2.00		(2.45)	0.60			
105	12	30-58	(ミゾ 04)		9期	Ⅱ期	鉢	直腹	赤或 跡?	平	2.5Y7/3淡黄色 相密	良好	2.90		(1.90)	1.10		
106	17	A-1		[45b]			鉢		半	2.5Y8/2灰白色 相密	良好	3.20		(2.25)	1.50			
107	17	E-8	上削	ミゾ 2 TU-1K	5-6期	Ⅱ期	鉢?	脚台	2.5Y8/3淡黄色 相密	中や不良	3.00		2.75	(2.20)	1.50			
108	17		ミゾ 2 E アゼ内		5-6期	Ⅱ期	鉢	直腹	2.5Y8/2灰白色 相密?	脚台?	10YR7/2灰白色 相密	中や不良	2.40	2.10	(2.05)	1.60		
109	27	25-96	灰 I 下削	埋植浅谷			鉢?		半	10YR6/4淡黄色 相密	脚台?	2.70		(1.20)	0.40			
110	11	C-9	ミゾ 31.3		7-8期	Ⅱ期	鉢?	直腹	半	2.5Y8/2灰白色 相密	中や不良	4.30	3.80	2.90	1.20			
111	11	G-7	中削	ミゾ 46.1	7-8期	Ⅱ期	鉢?	直腹	半	2.5Y6/2灰白色 相密	良好	3.60		(2.80)	0.60			
112	11	E-2	黒褐色土	(ミゾ 20)			鉢?	直腹	半	2.5Y7/2灰白色 相密?	不具	3.70		(1.30)	0.80			
113	11	I-4		ミゾ 27.1	9-10期	Ⅰ期	鉢?	脚台	10YR8/4灰白色 相密	直	3.70		2.80	(1.40)	0.70			
114	11	L-3	無色シルト	ミゾ 22.1	7期	Ⅱ期	鉢?	直腹	半	2.5Y8/4灰白色 相密	良好	3.98		(2.95)	0.90			
115	11	H-3		ミゾ 18.6 b	7期	Ⅱ期	鉢?	直腹	半	2.5Y8/3灰白色 相密	良好	3.40		(2.75)	0.90			
116	11	N-10	上削	SD24 G-1K	7期	Ⅱ期	鉢?	直腹	半	2.5Y8/2灰白色 相密	良	3.30		(3.20)	1.00			
117	26	D-6	中削	埋植浅谷	7-10期	Ⅱ期	鉢?	直腹	半	2.5Y7/3淡黄色 相密	良好	4.95	4.00	3.80	0.80	内P-二次燒 結?		
118	26	E-3	中削	埋植浅谷	7-10期	Ⅱ-Ⅲ期	鉢?	直腹	半	2.5Y6/3に赤い痕 跡?	良好	3.30		(2.55)	0.60			
119	26	E-5	中削	埋植浅谷	7-10期	Ⅱ-Ⅲ期	鉢?	直腹	半	10YR6/4灰白色 相密	良好	3.30		(1.75)	0.90			
120	26	F-5	7.1	埋植浅谷	9-10期	Ⅲ期	鉢?	直腹	半	10YR6/4灰白色 相密	良好	2.70		(2.00)	0.20			
123	26	E-2	中削	埋植浅谷	7-10期	Ⅲ期	鉢?	直腹	半	2.5Y7/4灰白色 相密	中や不良	4.30	4.80	3.80	(3.80)			
124	26	E-3	中削	埋植浅谷	7-10期	Ⅲ期	鉢?	直腹	半	2.5Y7/2灰白色 相密	中や不良	2.20		(2.60)	1.30			
125	26	E-3	中削	埋植浅谷	7-10期	Ⅲ-Ⅳ期	鉢?	直腹	半	2.5Y6/2灰白色 相密	中や不良	2.40		(2.30)	0.80			
126	26	E-5	中削	埋植浅谷	7-10期	Ⅲ-Ⅳ期	鉢?	脚台	2.5Y8/2灰白色 相密	良好		(3.60)	3.30	(4.40)	0.70	不明正直 あり、内P-一次燒 結?		
127	26	F-5.1	8.2	埋植浅谷	6期	Ⅱ期	鉢?	直腹	半	10YR6/4灰白色 相密	良好	3.40		(2.50)	1.20	内P-二次燒 結?		
128	11	D-6	中削	埋植浅谷			鉢?	直腹	半	2.5Y8/2灰白色 相密	良好	3.40		(2.60)	0.50			
129	11	E-8	埋植 タカラカツ	埋植浅谷			鉢?	直腹	半	10YR6/3灰白色 相密	良好	2.70		(3.50)	0.70	外Sスリ着		
130	11	E-9	冠合縫	埋植浅谷			鉢?	直腹	半	2.5Y8/1白白色 相密	中や不良	5.30	2.60	3.60	1.10			
131	11	H-2	冠合縫				鉢?	直腹	半	2.5Y8/3淡黄色 相密	良好	6.10	3.20	2.95	0.80			
132	11	H-8	冠合縫				鉢?	直腹	半	2.5Y7/3淡黄色 相密	中や不良	2.80		(2.80)	1.50			
133	11	E-4	冠合縫				鉢?	直腹	半	2.5Y8/3淡黄色 相密	中や不良	4.30	2.20	(2.00)	1.20			
134	11	H-8		K8-06-K 721	9-10期	Ⅰ期	鉢?	脚台	10YR6/4灰白色 相密	良好		(2.90)		(1.90)	0.30			
135	26	ホベル ト A	6-1 削	埋植浅谷	9-10期	Ⅰ期	鉢?	直腹	半	2.5Y8/2灰白色 相密	中や不良	2.40		(1.70)	0.40			
136	26	F-4	6.4 削	埋植浅谷	9-10期	Ⅰ期	鉢?	脚台	2.5Y7/2灰白色 相密	中や不良	2.90		(1.66)	2.40	0.90			
137	26	F-3.5	7.5 削	たれりか内	3-6期	I-Ⅱ期	鉢?	直腹	半	2.5Y8/4灰白色 相密	中や不良	3.20		(1.40)	0.95			
141	12	29-56	笠合縫 2nd	埋植浅谷	9-10期	Ⅰ期	コップ形	丸	2.5Y7/2灰白色 相密	良好		(3.20)		(3.70)	0.65			
142	12	26-62	笠合縫 2nd	埋植浅谷	9-10期	Ⅰ期	鉢?	直腹	半	2.5Y8/2灰白色 相密	良好	5.20	4.80	4.00	4.40	4.30	0.80	
143	26	E-2	中削	埋植浅谷	7-10期	Ⅲ-Ⅳ期	鉢?	直腹	半	2.5Y7/3淡黄色 相密	良好	6.60	(7.00)	4.20	5.10	0.60	通孔径: 0.39	
144	26	E-1.8	8.8 黒色砂	埋植浅谷	7-8期	Ⅲ-Ⅳ期	鉢?	直腹	半	2.5Y7/4灰白色 相密	中や不良	5.40	(5.60)	(4.10)	(3.60)			
145	26	F-8	8.8 黒色砂	埋植浅谷	7-8期	Ⅲ-Ⅳ期	鉢?	脚台	2.5Y7/3淡黄色 相密	良好		3.50		2.89	(3.40)	0.50		
146	26	G-9	黒褐色砂	埋植浅谷	9-10期	Ⅲ-Ⅳ期	鉢?	脚台	2.5Y6/2灰白色 相密	中や不良		(3.90)		(2.70)	(0.65)	中心孔径: 0.65		
147	26	盤		埋植浅谷			鉢?	脚台	2.5Y8/2灰白色 相密	良好		(4.98)	3.70	2.60	(4.80)	1.80		

5 不明円筒類

規範 実測 No.	区 Gr	肩名	遺物名	取上 No.	種類 区分	集落 時期	色調	胎土	焼成	竪法	横法	最大 直径	重量	孔径	備考	
147	192	II	D-8	I+中削	SK89-d	9期	Ⅱ期	2.5Y8/2灰白色	相密	中や不良	(3.20)	3.44	1.31	11.86	0.39	
148	300	17			SK06	9期	Ⅱ期	10YR8/2灰白色	相密	良好	3.20	3.17	1.14	11.27		ミニチュア土器 部?
149	302	11	G-7	笠合縫				10YR8/2灰白色	相密	中や不良	(2.50)	4.14	0.93	8.89		
150	348	13	F-10	上削	ミゾ 29	6期	Ⅱ期	10YR8/1灰白色	相密	不良	9.00	0.10	0.90	0.52	1.30	
151	ka-145	11	4 削	ミゾ 24 B1		7期	Ⅱ期	10YR7/2に赤い痕 跡	相密	良好	(7.30)	(4.44)	1.35	(37.90)		152 同一か 盤ナード-ミガキ
152	4018	11	F 削	ミゾ 22 b K		8期	Ⅱ期	10YR7/2-7/3 に赤い痕 跡	相密	良好	(11.1)	6.15	1.80	(114.80)		盤ナード-調整

6 燃成粘土

規範 実測 No.	区 Gr	肩名	遺物名	取上 No.	種類 区分	集落 時期	色調	胎土	焼成	長軸	短軸	高さ	重量	備考	
153	349	26	本ベルト 1	15-2	C			2.5Y8/2 ~ 6/2 白~灰白色 相密	密	中や不良	12.20	9.70	9.70	807.4	